

竹ノ塚駅周辺地区まちづくりニュース

2011年（平成23年）3月発行 第12号

編集 竹ノ塚駅周辺地区まちづくり連絡会

今年度のまちづくりの動きを報告いたします

今年度は、都市計画案および環境影響評価書案説明会などの都市計画決定に向けた手続き等の、まちづくりの動きがありました。

平成22年 4月：都市計画案および環境影響評価書案説明会

- ① 4月20日（火） 竹ノ塚小学校
 - ② 4月21日（水） 第十四中学校
- 参加人数 計 約360名（2日間合計）

【説明会の主な内容】

- ・ 鉄道高架化および西口の足立区画街路第14号線（区画街路・駅前広場）は、平成22年度末に都市計画決定、平成23年度に用地測量を行い、事業認可をめざします。用地買収や移転に関する補償手続きについては事業認可後となります。
- ・ 工事は事業認可後、概ね10年間を想定しています。
- ・ 西口駅前広場以外の鉄道高架下の活用については、今後、東武鉄道と協議していきます。
- ・ 今後、工事を行う際は、「都民の健康と安全を確保する環境に関する条例」等で定める基準値を守り、完成後においても騒音・振動、日影および景観等、周辺環境に配慮した計画で進めていきます。



4月21日開催の説明会の様子

平成22年 6月 2日：第26回まちづくり連絡会 都市計画案および環境影響評価書案説明会の 結果報告等

平成22年 6月15日：竹ノ塚駅付近鉄道高架化 促進連絡協議会第5回定期大会

「鉄道高架化の平成23年度事業着手」および「鉄道高架化によるにぎわいの創出と緑豊かな安心して住めるまちづくりをめざす」事などの決議を行いました。

平成22年 9月15日：第27回まちづくり連絡会 商店街活性化事例の紹介等

平成22年10月20日：第28回まちづくり連絡会 先進事例視察会（※裏面参照）

平成23年 2月 4日：第40回足立区都市計画 審議会

平成23年 3月 9日：第29回まちづくり連絡会 都市計画手続き等

平成23年 3月末：都市計画決定（予定）



西小山駅周辺の商店街や京成電鉄押上線の連続立体交差事業などを視察しました

まちづくり連絡会では10月20日（水）に鉄道高架化によるまちづくりや商店街活性化の研究をするために、「東急電鉄目黒線西小山駅周辺の商店街」、東京スカイツリーを建設中の「押上・業平橋駅周辺地区土地区画整理事業」および「京成電鉄押上線（押上駅～八広駅間）連続立体交差事業」を実施している京成曳舟駅周辺の視察を行いました。

○西小山駅周辺の商店街

鉄道の立体化および駅前広場整備を契機に商店街活性化に取り組んだ事例

●主な内容

- ・ 鉄道立体化とそれとともなう駅前広場整備を契機に、分断されていた鉄道両側の商店街、住民、行政、鉄道事業者が共同で「西小山商店街賑わい再生プロジェクト研究会」を立ち上げ、商店街の活性化に取り組んでいる。
- ・ これまでに、「西小山ミステリーツアー（謎解きをしながら商店街を回遊するウォーキングイベント）」の企画・実行、商店街のガイドブックの作成などを行なっている。



視察会当日の様子（西小山駅周辺の商店街）

○押上・業平橋駅周辺地区土地区画整理事業

東京スカイツリー周辺でまちづくりが行われている事例

○京成電鉄押上線（押上駅～八広駅間）連続立体交差事業

鉄道高架化により、連続立体交差事業を進めている事例



視察会当日の様子（京成押上線連続立体交差事業）

◇参加者の主な感想

- ・ 「西小山商店街賑わい再生プロジェクト研究会」の活動報告を聞いて、商店、お客、住民等とのコミュニケーションの重要性を痛感した（まち全体の協力、一体感が大切）。
- ・ 鉄道が立体化になったことで、鉄道の両側で分断されていた品川区と目黒区の商店街が一体となり活性化されたと思う。
- ・ 連続立体交差事業を実際に見て大変参考になった。竹ノ塚駅の工事もスムーズに行われる事を望みたい。

お問い合わせ先 竹ノ塚駅周辺のまちづくりや鉄道立体化についてのご意見・ご要望は下記までお願いします。

竹ノ塚駅周辺地区まちづくり連絡会事務局（足立区都市建設部 鉄道立体推進室 竹ノ塚整備推進課）
〒120-8510 足立区中央本町1-17-1 足立区役所南館4階 担当：志田野、小川、古賀、鈴木
TEL：03-3880-5250 FAX：03-3880-5605 E-Mail：t-rittai@city.adachi.tokyo.jp